



【代表質疑内容※抜粋】

・新型コロナ感染症対策

Q:医療体制の「見える化」、地域連携について本市の状況

A:「即応病床数」「入院中患者数」についても今月中(12月)に公表予定であり、以後、毎月公表が行われる予定。在宅療養者の体調が悪化した際には、保健所から医療調整本部の医師へ相談し、入院や外来受診の調整を行っているほか、訪問等による健康観察の実施についても、関係機関と協議をしているところである。今後とも医療機関等との連携を密にし、適切な患者対応を進めていく。



R4.1.22地元紙

Q:無料PCR検査実施が必要と思うが市の対応は?

A:市役所本庁舎の検査センターでの対応の可能性など、県と協議を行っているところである。(R3.12.30より市役所1F実施済)

Q:ワクチンパスポートデジタル化について問い合わせ先など本市の準備状況

A:は、本年12月よりデジタル化を進めることとしている。お問い合わせがあった際には、コールセンター等を通じて丁寧に対応していくなど、接種証明書の利用拡大等を踏まえた取り組みを着実に進めていく。

Q:ワクチン3回目接種前倒しについて必要と考えるが本市の考えはいかがか

A:国の検討状況を注視しつつ、医師会等関係機関と緊密に連携を図る。市民の皆様が円滑に3回目の接種を受けることができるよう、ワクチンの供給状況も見定めながら、接種券の送付や接種の時期等について調整を進めていく。

Q:ゲノム解析検査体制について民間の陽性検体を含めた体制はどうなっているのか

A:衛生研究所において解析することとしており、その際の検体搬送は、本市が委託する搬送業者等での対応を想定している。

・ガス事業について

Q:原料調達に関して原油価格と連動している原料の安定供給について

A:安定供給体制につきましては、ベトロナス社からのLNGに加え、パイプラインによる天然ガスという複数の調達ソースとしておりますことから、仮にLNGの調達に支障が出た場合でも、パイプラインガスでの増量で対応が可能である。

Q:騰化する原料と連動したガス料金変動の今後について

A:原料価格が現在の2倍以上となった場合には、料金は上限値に達することになりますが、現在のところそのような状況になる可能性は低いものと考えている。

Q:脱炭素化や水素エネルギー開発などガス事業を取り巻く環境が変化していく現状で本市が求める持続的発展とは何か

A:長きにわたりまちの発展に貢献してまいりました都市ガス事業が、事業継承後におきましても、その資産を活かしながら、お客さまの暮らしや地域を支えるインフラ事業として発展してもらいたいとの思いを持つものである。

Q:ガス事業民営化検証委員会について前回の検証結果の反映、委員選定について

A:経営の独立性や、円滑な事業継承に関するご意見を踏まえ、今回の公募では、本市の出資を行わない、また、一定の期間、本市職員を派遣する財団法人を新たに設立するなどの見直しを行った。今回の結果を踏まえ、現在、藤本副市長のもと、具体検証結果を取りまとめ、今後の民営化の取組みにつながりますよう進めていく。

Q:優良住宅認定制度活用について

A:本市ではこれまで延べ11,806件の認定を行っている。一定期間を経過した住宅の中から抽出により維持保全状況を確認している。

Q:次期空き家等対策計画について積極的な空き家利活用など命を吹き込み新たなニーズへ向けての計画を求める

A:空家になる前からの所有者や将来相続をされる方に対する啓発、流通を促進するための相談支援などに力を入れ、地域の活性化という観点も踏まえ、関係機関と適切に連携しつつ、空家の有効活用など各般の取り組みをさらに進めていく。

Q:マンション管理適正化に向けた取り組みについて

40年を超えるマンションが増える中、建替えや大規模改修を促進するなど本市の対応を求める

A:本市では、今年度、検討委員会を立ち上げ、本市のマンション管理適正化推進計画の策定や、適正な管理計画を有するマンションの認定制度の実施に向けた準備を進めており、これらの取り組みにより、管理水準の底上げを図り、良好な住宅ストックの形成が図られるよう取り組む。

・学校施設の建替え。大規模改修時の考え方について

Q:地域とともに子供たちを見守るという観点で、地域の方々が利用しやすいようにする工夫を求める

A:各学校では地域の方や保護者の方が利用できる、活動スペース等を設けております。教室の地域活動スペースは、地域や保護者の方も参加の建設委員会からのご意見も参考としながら配置している。引き続き、地域の方も使用しやすい学校施設の環境整備に取り組む。

Q:バリアフリー化の状況、エレベーターの設置状況、防災の観点での優先順位などの考え方を伺う

A:車いす用スロープについては、約8割の学校で設置済。ひろびろトイレについては、現在工事中の1校が終わると全ての学校で設置が完了する。また、エレベーターは、既存校舎への設置は構造上の制約があり、学校建替え時に設置し、60校で設置済である。

Q:通級指導教室など多様な学が環境を増設を求める

A:通級指導教室は、「ことばの教室」を15教室、「きこえの教室」を4教室、LDやADHDなどの「はぐくみ教室」を25教室設置。また、ステーションは、中学校10校に設置。このような教室は、課題もあるが、今後も必要な整備に努める。

Q:子どもの意見は反映はされているのか

A:子ども達から直接意見を伺ってはおりません。

・子育て支援

Q:子ども食堂支援にはふるさと納税などを活用しているが、国の支援策を活用するなど前のめりで支援することを求めるがいかがか

A:国の補助メニューの効果的な活用も検討しながら、子ども食堂をはじめとした子どもの居場所づくりや見守り活動に取り組む。

Q:三重県や江戸川区などで活用しているように本市としても児童相談所のICT化を進めるべきと考えるがいかがか

A:業務のICT化を進めてまいります。

Q:ベガルタ仙台経営支援について大株主の仙台市、取締役の副市長の立場でどのように考えているのか

A:1年でのJ1復帰が叶うように、最大限の支援をしまいる。昨年度よりスタジアム使用料の追加の減免を行っている。また、スポンサー収入の増額や増資により、来期中に債務超過を解消することを目指して鋭意取り組みを進めているところで、社長を先頭に、クラブを挙げてスポンサー収入の更なる獲得に向けた努力を重ねている。

≪以下質問内容のみ記載≫

・GIGAスクール構想について

Q:情報活用能力の習得が大事であるが本市の取り組み状況、考え方はどうか

Q:課題認識と国の支援体制の活用状況を伺う

Q:採用段階でのICT能力保持が重要と考えるが採用基準はどのようになっているのか

・経済対策について

Q:燃料高騰による事業者支援が必要ではないのか、前向きに取り組む事業者のために最善を尽くしてほしいと考えるがいかがか

・男女共同参画事業について

Q:男女共同参画の推進について令和3年男女共同参画白書にもあるようにポストコロナの考え方はどうか

Q:男女共同参画せんだいフォーラムでのテーマ「男女平等のまち仙台」です。男女平等についてどのような議論が交わされたのか伺う

Q:フォーラムでは議員名をだし「囲んで」と題した物もあった。公共性公平性についてはどのようにお考えか伺う

A:明確な答弁無し

【お問い合わせ先】 村岡貴子事務所

仙台市青葉区東照宮1-7-16

電話: 725-7870 fax: 725-0028

Mail: muraoka@takakomura.com



会派挨拶

「せんだい自民党」

私たち「せんだい自民党」は令和3年9月1日に結成しました。市政与党でも野党でもない市民与党の立場で様々な課題解決に取り組み、市民の皆様にご信頼いただけるよう、私たちの活動を会派広報紙を通して発信してまいります。さらに議会に関心を持っていただけるよう、フェイスブックで積極的に活動をお伝えしてまいります。市民の皆さまと同じ目線で、全員で力を合わせて頑張ってまいりますので「せんだい自民党」へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

<p>たむら まさる 田村 勝 宮城野区(1期) 副政調会長 ●市民教育委員会委員 ●防災・減災推進調査特別委員会委員</p>	<p>さくら たかよし 菊地 崇良 若林区(3期) 政調会長 ●健康福祉委員会委員 ●文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会委員</p>	<p>よさき しん 佐々木 心 太白区(2期) 幹事長 ●総務財政委員会委員 ●人生100年時代調査特別委員会委員</p>	<p>あおる あとべ 薫 青葉区(4期) 会長 ●都市整備建設委員会委員 ●歴史まちづくり調査特別委員会委員</p>	<p>むらおか 村岡たかこ 青葉区(1期) 副幹事長 ●経済環境委員会委員 ●歴史まちづくり調査特別委員会委員</p>	<p>あいとう のりお 斎藤 範夫 泉区(5期) 副幹事長 ●総務財政委員会委員 ●防災・減災推進調査特別委員会委員</p>	<p>さとう まさあき 佐藤 正昭 若林区(8期) 副幹事長 ●経済環境委員会委員 ●子育て環境充実特別委員会委員</p>
--	--	--	---	--	---	--

※抜粋記載

《4病院再整備について》

Q.仙台医療圏市町村長会議で本市の考え方をどのように訴えたのか

A.県にお示しした「本市の考え」について、概略ご説明を申し上げました。加えて、本市を含む仙台医療圏全体という観点で検討を進めることについては理解いたしますものの、仙台医療圏の将来とどう繋がっていくのか、例えば人口推計などもそうですが、多角的な様々な角度で検討し評価をして丁寧に進めるべきであるということをお示ししたところでございます。これは必要であるということ、重ねて申し上げます。さらには、市民・県民の皆様方が納得をしっかりといただけるように丁寧に進めてほしいと、知事に対し要請したところでございます。

Q.地域医療の大事さについてどのようにお考えか

A.地域医療計画は、地域の将来の医療提供体制の目指す姿を示すものでございますため、本市としては、次期計画の策定に向けて、今般設置した有識者による懇話会で頂いたご意見等も踏まえ、地域医療に対する考え方を改めて整理してまいります。

Q.6月開催の5者会議以降9月の再整備案発表までどのように情報収集してきたのか

A.昨年8月以来、県に対しては、協議への参加を求めますとともに、協議の進捗状況等について随時情報提供を求めてまいりました。しかしながら、この9月に4病院の再編の方向性が示されるまでの間、県からは、その都度、情報を提供できる段階にはないと回答のみであり、情報の入手には至らなかったところでございます。

Q.懇話会の今後の方向性、本市としての病院存続のため予算案や誘致を含めた具体策は何か伺う

A.この問題に関する今後の進め方についてでございます。懇話会は、年度末までに4回開催し、救急医療について、あるいは地域連携支援などをテーマに、意見交換を進めていく予定でございます。頂いたご意見等を踏まえ、「本市の考え」を整理いたし、改めて県に示してまいります。私といたしましては、今回の再編は地域の医療体制に大きな影響を及ぼすものと考えております。また、地域の住民の皆様や患者の方々、医療従事者の皆様方から寄せられている大変なご懸念の声、切実な声を重く受け止めているところでございます。本市の今後の対応については、懇話会のご意見も踏まえた上で、検討してまいりますと存じます。

【令和3年12月第4回定例会において 会派を代表し質問】

せんだい自民党の村岡貴子です。12月1日に敬愛愛子さまが20歳の誕生日を迎えられ、12月5日には成年行事に臨まれました。心からお慶び申し上げます。愛子さまは「日頃から思いやりと感謝の気持ちを忘れず、小さな喜びを大切にしながら自分を磨き、人の役に立つことのできる大人に成長できますよう、一步一步進んでまいりたいと思います」とおっしゃいました。国民の事を想い清らかで気品のあるそのお姿は日本国民として誇りに思うとともに、天皇皇后のもと生まれた心はこれからの日本を守る大きな力となると感じ頼もしく思いました。愛子さまに恥じない様に仙台市民のことを第一に想い会派を代表しまして順次質問をいたしました。

《新型コロナウイルス感染症の後遺症対応》

Q.新型コロナウイルス感染症の後遺症について東京は公立・都立病院で専用窓口があるが本市の対策をうかがう

A.本市では、ホームページに専用のページを設け、国の調査・研究の状況や、後遺症が疑われる場合の対応などについて、情報発信を行っております。また、保健所支所やコールセンター等に相談があった際には、かかりつけ医や症状に応じた医療機関の受診をお勧めするなどの対応を行っている。今後とも寄り添った対応ができるよう進めてまいりたいと思っております。